

【学力向上フロンティアスクール用中間報告様式】(小学校用)

都道府県名	沖縄県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	豊見城市立 長嶺小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	1	19	23
児童数	91	83	95	83	94	112	5	558	

研究の概要

1. 研究主題

**確かな学力を身につけた児童の育成**  
 ~ 個に応じた指導法の工夫・改善を通して ~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

個に応じた指導の工夫改善

学年	テーマ	教科	指導形態	具体的な取り組み
1年	基礎・基本の定着を目指した指導の工夫	算数科	学年TT 学習支援ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別編成による学年TT</li> <li>父母による教育ボランティア</li> <li>がんばりノート、日記</li> <li>たし算・ひき算 3段階(習熟度別)プリント作成</li> </ul>
2年	個に応じた指導の工夫改善	算数科	学年TT 学習支援ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別グループ指導</li> <li>百マス計算・ドリル学習</li> <li>ミニテストによる基礎・基本の定着</li> <li>音読朝会(学年朝会)</li> </ul>
3年	確かな学力を身につけた児童の育成	算数科	習熟度別指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級内習熟度別指導</li> <li>学年習熟度別指導</li> <li>それぞれのグループに合った単元計画</li> <li>自作プリント「1・2・さんすう」</li> <li>単元に入る前の準備テストの実施 グループ編成、自己評価能力の育成</li> <li>学習後の振り返りカード 習熟度別学習に対する意識の変化</li> <li>児童、保護者へのアンケート 習</li> </ul>

				熟度別指導への理解協力
4年	個に応じた指導の工夫	算数科	習熟度別指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級内習熟度別指導</li> <li>・学年内習熟度別指導</li> <li>・朝の自習 国・算のマスターシート</li> <li>・漢字豆テスト実施</li> <li>・休息時間の利用 個人指導、ドリル等</li> <li>・ワークシート作成</li> <li>・補充用プリント作成</li> </ul>
5年	学びの機会を充実させ、一人一人が学ぶ習慣を身につける指導の工夫	社会科	教科担任制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任の特性を生かし、パソコンを活用した授業の工夫</li> <li>・学習のふり返しとして自己反省日誌を活用</li> <li>・班日誌記入 学習態度、生活態度（習慣）の反省</li> <li>・インターネットの活用</li> <li>・グラフ表示可能なエクセルによる点数入力シートの作成</li> <li>・「嶺っ子シート」「こつこつ自分史」</li> </ul>
6年	一人一人が目当てを持ち、学ぶ力を高める指導の工夫	体育科	教科担任制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の目当て</li> <li>・種目の選択</li> <li>・自己評価</li> <li>・グループ学習 リーダーの育成</li> <li>・視聴覚機器の活用</li> <li>・漢字五問テストの実施</li> <li>・習熟度別プリントの作成</li> <li>・日記指導、漢字書き取り</li> <li>・「学びの手引き」の活用</li> <li>・「プリント」を作成し、学級通信、自主学習に役立てている。</li> </ul>
ひまわり	個に応じた指導の工夫	総合学習	情報教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルカメラの活用 映像で示すことにより、より確かな情報が得られる</li> <li>・調べたことをまとめる過程では発達段階に応じてその方法を柔軟に考える。</li> <li>・朝の自習 それぞれに合った漢字ドリルを利用。</li> <li>・家庭学習 授業で使用したワークシートやプリントから自分で選ぶ。</li> <li>・漢字学習漢字に興味を持たせるため身近な地名や人名、スーパーなどの商品名をカードに作成。</li> <li>・デジタルカメラでバス停を撮影し、市内一周線すごろくを作成。</li> </ul>

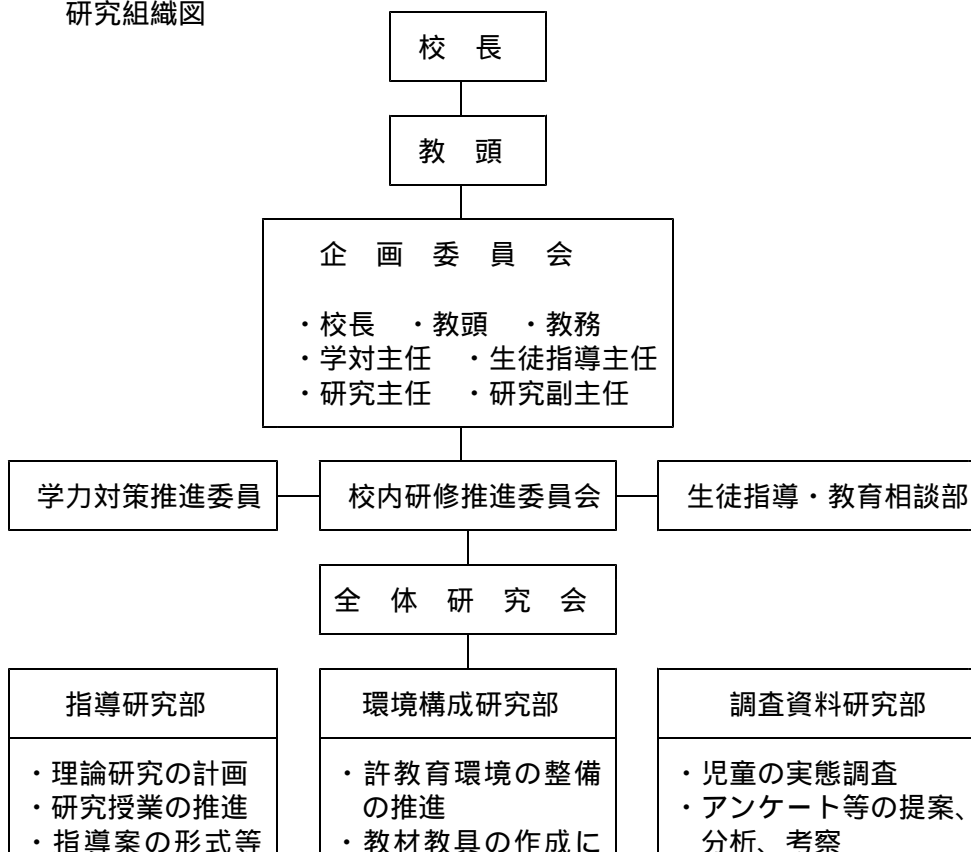
(2) 年次ごとの計画

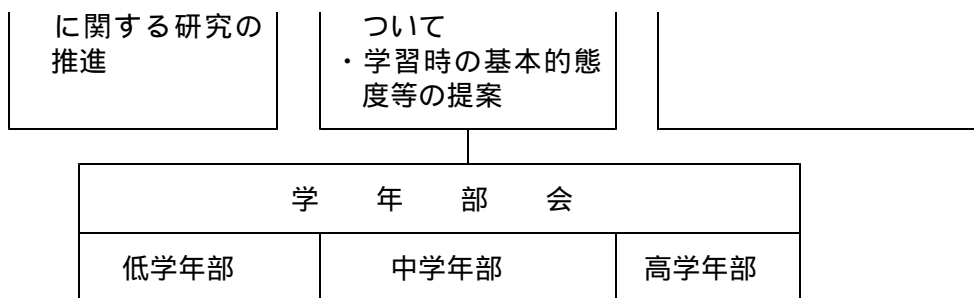
平成 15 年度	<p>テーマ 「確かな学力を身につけた児童の育成 ～個に応じた指導法の工夫・改善を通して～」</p> <p>研究仮説 趣旨の徹底 組織と体制づくり 児童の実態調査 ・ 児童の意識の変化についての継続的な調査 少人数指導の実施 習熟度別指導の実施 教科担任制の導入 きめ細かな指導のための教材開発（習熟度別） 各種の学力検査の実施</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 「確かな学力を身につけた児童の育成 ～個に応じた指導法の工夫・改善を通して～」</p> <p>仮説の見直し 教科担任制の見直し、継続 習熟度別少人数指導の充実 児童の実態調査と変容把握 きめ細かな指導のための教材開発（習熟度に応じ） 指導体制の充実（少人数加配、学習支援ボランティア） 教科（算数科）について実践的な研修（校内研修） 授業研究会の充実 評価を生かした指導の改善 ホームページ掲載と公開</p>
----------------	---

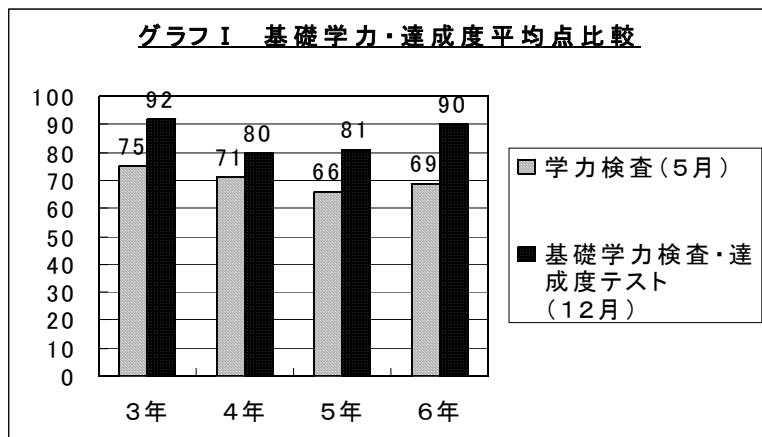
(3) 研究推進体制

研究組織図





平成15年度の研究成果及び今後の課題  
1. 研究成果

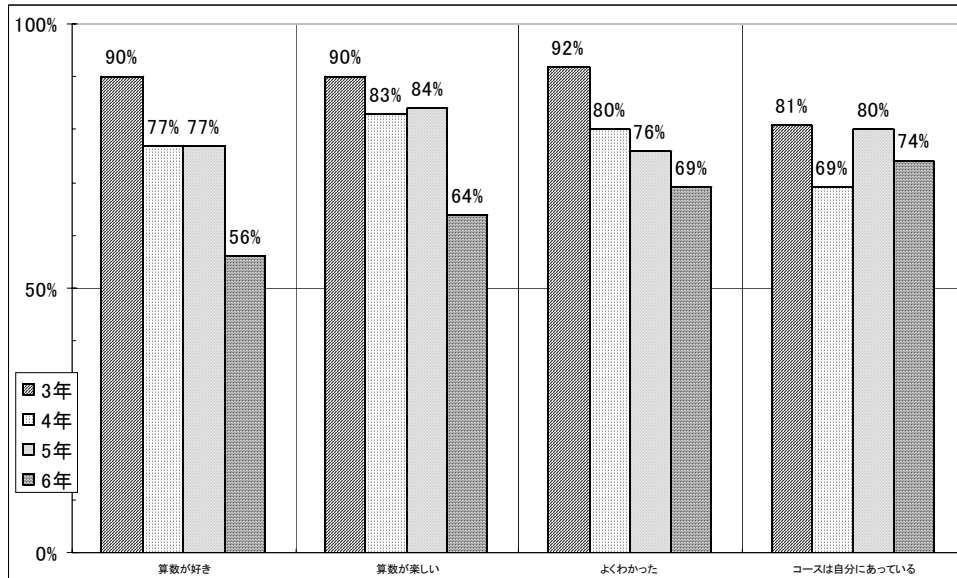


パター ン 学年	A (学年内 習熟度)	B (学級内習 熟度)	学級内少人 数	学 級 内 T . T	全体	
					平均点	達 成 率 (%)
3年	84.3		93.0	89.5	88.9	84.0
4年	74.5	83.0	85.0	72.0	78.6	65.0
5年		77.5	86.3		81.9	71.0
6年		89.0	86.5	90.0	88.5	83.0
全体	79.4	83.1	87.7	83.6	83.4	75.7

**表1 各集団における単元テスト平均点比較** 実施 H15・5月～12月

	算数が好き	算数が楽しい	よくわかった	コースは自分 に あ っ て い る	実施 対象	6月～12月 3年(97名) 4年(83名) 5年(94名) 6年(109名)
3年	90%	90%	92%	81%		
4年	77%	83%	80%	69%		
5年	77%	84%	76%	80%		
6年	56%	64%	69%	74%		

**表2 少人数指導に関する意識**



**グラフ 習熟度別指導に関する意識**

**グラフ 保護者アンケート結果**

対象 3年保護者(90名)  
実施期間 平成15年9月～11月

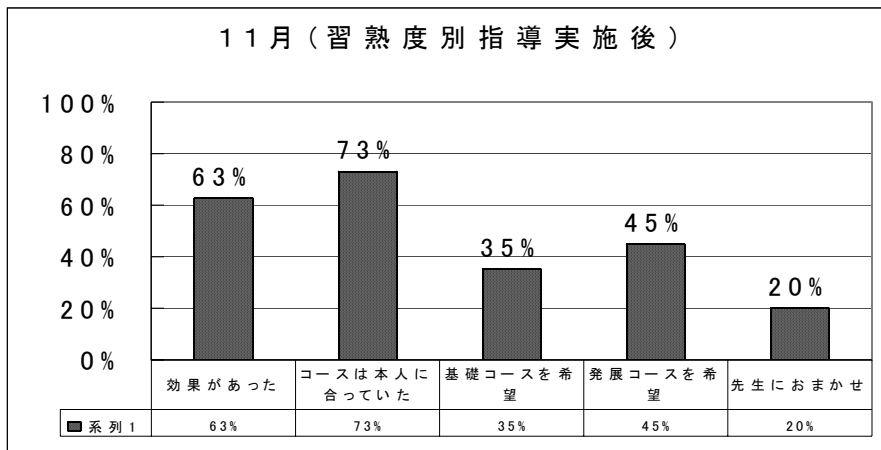
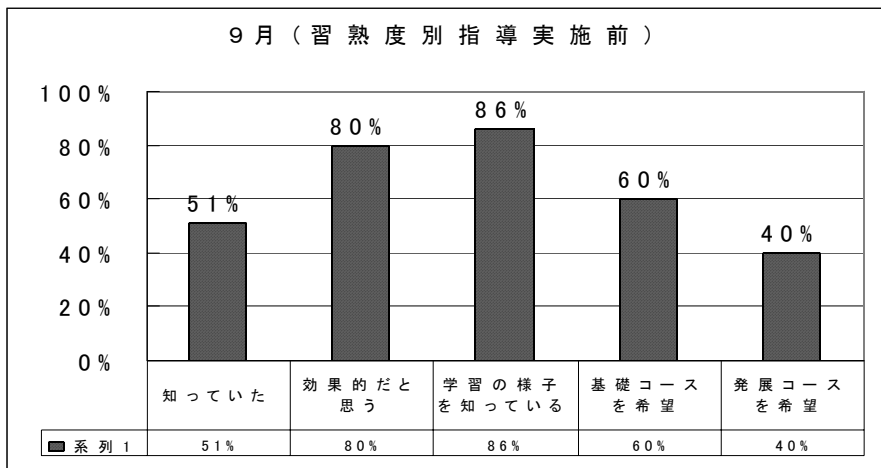


表3 教科担任制に関する意識調査 対象 5・6年生(198名)  
実施 平成16年 1月

質問項目	回答	%	
1. 学習内容がよくわかるようになった。	よくあてはまる	15.6	79.7
	どちらかといえばあてはまる	61.1	
	どちらかといえばあてはまらない	16.6	20.1
	まったくあてはまらない	3.5	
2. 進んで手を上げて答えるようになった。	よくあてはまる	11.1	36.3
	どちらかといえばあてはまる	25.2	
	どちらかといえばあてはまらない	42.4	63.6
	まったくあてはまらない	21.2	
3. 先生や友達の話をよく聞くようになった。	よくあてはまる	19.6	67.5
	どちらかといえばあてはまる	47.9	
	どちらかといえばあてはまらない	26.7	31.7
	まったくあてはまらない	5.0	
4. わからないことなど先生に聞きやすい。	よくあてはまる	18.1	55.4
	どちらかといえばあてはまる	37.3	
	どちらかといえばあてはまらない	32.3	44.4
	まったくあてはまらない	12.1	
5. 教える先生が変わることでその教科が好きになった	よくあてはまる	13.1	49.4
	どちらかといえばあてはまる	36.3	
	どちらかといえばあてはまらない	34.8	50.4
	まったくあてはまらない	15.6	
6. 教科ごとに教える先生が変わった方がよい。	よくあてはまる	26.2	65.5
	どちらかといえばあてはまる	39.3	
	どちらかといえばあてはまらない	23.7	34.3
	まったくあてはまらない	10.6	

## 1. 研究の成果

基礎学力の達成度から見ると大きな成果があった。(グラフ1)

習熟度別指導において集団の編制と単元配列の組み合わせを工夫したため学力に大きな伸びが見られた。(グラフ2)

学習集団の編制の仕方について流れができた。

単元に入る前の目標設定や学習後の振り返りカードを継続的に実施することで自己評価の意識が高まった。(グラフ)

習熟度別指導について保護者の理解がある程度得られた。(グラフ)

教科担任制を実施して学年全体を学年全担任で把握することができ、生徒指導に活かすことができた。

教科担任の授業で学習内容がよく理解できるようになったと感じている児童が増えた。(表4)

## 2. 今後の課題

児童の学習意欲につながる授業のさらなる工夫・改善。

高学年における学習意欲の落ち込みをどう改善するか。(グラフ)

発展的教材の開発

よりきめ細かな指導のための人材確保(加配教員・学習支援)

教科担任制を進める上で、多くの課題が残された。(表4)

- ・時間割編成
- ・学級経営上
- ・連絡、調整のための時間確保
- ・持ち時数
- ・児童理解
- ・評価
- ・指導技術

学力等把握のための学校としての取組

### 1. 児童の学習状況と変容をとらえるため、次の検査を行う。

学力検査・・・5月

基礎学力検査  
達成度テスト

12月

単元テスト

2. 児童の実態と変容の把握のために次のテスト、アンケートを随時実施する。  
準備テスト・・・各単元の前  
振り返りアンケート・・・単元終了後
1. 基礎学力定着のため次のドリルを日常的に実施する。  
百ます計算  
1、2のさんすう  
マスタシート  
\*\*ちゃんプリント

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

島尻地区学力向上協議会を兼ね、公開授業を実施  
日時 平成15年11月25日  
場所 長嶺小学校 3年算数 公開授業  
対象 島尻地区フロンティアスクール間に事業実施校  
平成16年度 ホームページ作成と公開  
平成16年度 全体授業研究会 予定

~~~~~  
次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               6学級以下                       7～12学級  
                                  13～18学級                       19～24学級  
                                  25学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  一部教科担任制                       その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       算数                       理科  
                                  生活                       音楽                       図画工作                       家庭  
                                  体育                       その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有       無